

## 『みんなのスポーツ』6月号 (No.504) から学ぶ

林 但

平素より協議会の活動にご理解をいただきありがとうございます。

表記、公益社団法人 全国スポーツ推進委員連合機関誌の6月号は「**気候変動とスポーツの可能性**」の特集号です。

私の視点で気づいたこと・感じた事、参考になる点を3点記載します。



(1) P1にある、その課題、どうすれば解決できますか？ 福井県坂井市 同市の広報誌表紙に「スポーツ推進委員が足りません」とてもインパクトのあるキャッチコピーに目を奪われた。若手推進委員をモデルに使い課題解決に挑みました。**公募**で委員を募集したら予想以上に20歳代～60歳代まで5名も募集があったとの事。

委員のなり手不足は全国的に共通の課題であり、一つのヒントを得た気持である。また、「**無理をせず、楽しくがモットー**」の考え方にも共感を覚えます。紙面にもあったように、地域の实情にあったやり方で人と人の繋がりを持って取り組んでいきたいと私も同感の気持ちを持ちました。

(2) 理論3 気候変動がスポーツの「安全」とパフォーマンスに影響を与えるである。特に熱中症の発症メカニズムなどはじっくり読みこみました。地域散策型のウォーキングや市内観光ガイドで案内の場面でもなどでも時々にかかる方がある。事前のアナウンスを含め相当神経を使っている、見ていると参加者の健康管理などの場合もあり、集合した時や途中での確認が重要で場合によってはその場で取りやめていただくなどの対応している。環境に配慮した行動が大切であると考えています。

(3) わが町の健康づくり 山口県宇部市 市民ボッチャ大会の場面が写真で大きく掲載されている。参考にしたいのはボッチャコートがブルーシートで簡易的に作られている。毎回コートを作るのにラインテープで作るのが省け、環境にも配慮できる点である。学区の行事を見ていると同様に行っているところがあり自分の学区でも試しに行ってみたい。5月下旬に学区でスポーツ体験会を行ったが、ボッチャで小学校低学年から高齢者まで気軽にできる、また勝負に徹すると作戦などたてながら行うため頭も使う。体験会でも子供たちが大人相手に色々考えながらやっていたのは見ていてもうれしかった。

今月号では3つの事に記載致しました、知っていることが多いと思う方もあるかもしれませんが、気づいたことでできることから始めて（行動）みませんか？

\* **本冊子は有益で私たちの活動のヒントや答えがある**ように私は思います。年間購読されなかった方は、個別にも購入はできますので一度読んでみてください。問題意識や感度を高めていくと紹介されている事例が使える場合とこのままでは使えないがこうすればできる。こんな方法もあるなど感ずると思います。是非一緒に取り組んでいきましょう！

以上